

オンライン学会と対面学会参加者の発信内容の特徴の 分析—Twitter データにおける頻出語句の比較—

中谷 知生¹⁾・田口 潤智¹⁾・松下 光範²⁾・森野 穰²⁾

1) 宝塚リハビリテーション病院 2) 関西大学大学院総合情報学研究所

Key words / SNS, Twitter, 日本神経心理学療法学会学術大会

【はじめに】

近年、学術団体主催の学術大会において SNS が積極的に利用されている。日本神経心理学療法学会学術大会でも第 18 回大会（2020 年）以降、学会公式 Twitter アカウントがハッシュタグ #JSNPT2020 を使用し、学術大会の内容等に関する意見交換が盛んに行われている。本研究では、コロナ禍でオンライン形式の開催となった第 18 回大会（2020 年）、第 19 回大会（2021 年）と、対面形式の開催に戻った第 20 回大会（2022 年）に関するツイート内容を比較し、学術大会の開催方式の相違が参加者の発信内容にどのような影響を及ぼしたかを明らかにする。

【方法】

分析対象は第 18 回大会の #JSNPT2020、第 19 回大会の #JSNPT2021、第 20 回大会の #JSNPT2022 の付されたツイートである。Twitter 上で各ハッシュタグの付されたツイートの収集後に形態素解析により頻出語句を抽出し、ハッシュタグごとの頻出語句の出現傾向を比較した。

【結果】

各ハッシュタグに関する総ツイート数は #JSNPT2020 が 829 件、#JSNPT2021 が 480 件、#JSNPT2022 が 5223 件であった。頻出語句の各ハッシュタグにおける出現順位と出現回数（#JSNPT2020/2021/2022）は「学会」1/2/1 位・258/114/1707 回、「先生」2/1/2 位・184/135/1275 回、「参加」7/11/3 位・105/54/1154 回、「思う」3/13/4 位・144/48/745 回、「神経」4/6/7 位・134/89/550 回、「発表」20/5/8 位・53/94/464 回などであり、概ね上位 20 語前後までの頻出語句は各ハッシュタグにおいて共通する傾向にあった。#JSNPT2022 で特徴的な頻出語句の出現回数（#JSNPT2020/2021/2022）は「現地」5/5/256 回、「楽しむ」19/6/237 回、「対面」4/8/237 回、「会う」2/6/213 回などであった。#JSNPT2022 において「現地」「楽しむ」「対面」「会う」の語句を含む計 943 件のツイートの内容は「対面で発表・討議できる喜びに関するもの 183 件」「対面学会に対する期待感に関するもの 141 件」「学会での他者との出会いに関するもの 137 件」「（自身が）学会に参加できないこと 63 件」「学会会場の盛り上がりに関するもの 50 件」「次年度の学術大会に対する期待など 21 件」「学会終了後のアーカイブ配信に対する期待 18 件」「会場で会いたい人に会えなかったことなど 11 件」「対面学会に対する戸惑い 6 件」に分類された。

【考察】

対面学会である #JSNPT2022 の頻出語句には、学術大会において他者との直接的な交流に期待する参加者が多く発信したことが影響していると考えられた。

【倫理的配慮、説明と同意】

本研究はヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則ならびに臨床研究に関する倫理指針に従って行った。